

学生力まちづくりに

地域資源を生かしたまちづくりや市民と学生の交流に向け、大野市は13日、関西大と連携協定を

大野市、関西大と連携協定



協定書に署名する芝井関西大学長(左)と岡田大野市長＝13日、大野市役所

結んだ。市街地の空き店舗を拠点とし、学生らが研究に取り組む。

関西大は昨年7月に同日吉町にある空き店舗を借り受け研究拠点「横町スタジオ」を開設し、学生らが活動している。また研究者が同市が持つ地下水データの解析を始めており、協定の締結を機にこれら取り組みを本格化させる。

協定書には両者が協力する内容として、地域づくりのほか▽教育・文化

の振興▽福祉の増進▽産業振興―など幅広い分野を盛り込んだ。

締結式が市役所であり、芝井敬司学長が「水のまちとして知られ、多くの方が活動している市と連携できることを誇りに思う。結び付きが一層強くなることを期待している」とあいさつ。岡田高大市長は「まちの生き残りが課題となる中、さまざまな分野で長く支え合つことができれば」と話した。(寺島賢哉)